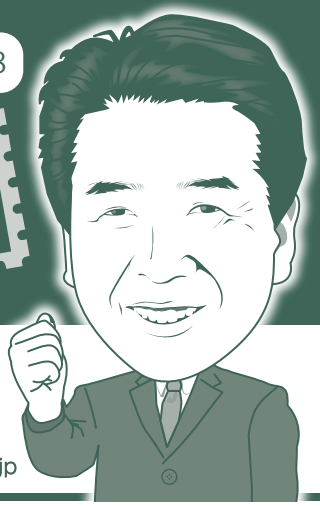
札幌市議会 市政報告 vol.20 2019.8

林せいじ 市政だより



市民が主役の街づくり。

［発行者］札幌市議会民主市民連合
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 ☎011-211-3212
林せいじ事務所 〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
☎011-775-6321 FAX011-775-6322
http://hayashi.main.jp/ hayasi-seiji-jimusyo@biscuit.ocn.ne.jp

札幌市議会第2回定例会閉会

秋元市長2期目の肉付け予算案を承認

5月より新しい任期がスタートしました。今年度、我が会派「民主市民連合」は議員20名での活動となります。私は会派幹事長として5月よりさまざまな議会対応を行っており、会派として主張するところは主張し、調整を進めています。

7月5日に市議会第2回定例会が閉会しました。市長提出の補正予算案並びに条例改正案などがすべて承認されました。

4月に市長選挙と市議会議員選挙があり、新しい体制で4年間のスタートを切りました。地方選挙の年は第1回定例会での予算案は骨格予算として恒常的な市政運営に係わる予算を中心に計上し、選挙後の定例会で政策的な予算を審議することとなっています。

今回の秋元市長2期目の補正予算は総額で約34億円でした。1点目として、昨年の胆振東部地震を受け、「安心して暮らせる強く優しい街」を目指し、避難場所・社会福祉施設・病院等の災害対応力強化を目指し約10億円の予算を計上しました。中でも我が会派からも要望していた、在宅で暮らす障がいのある市民および難病患者への支援も予算化されました。長期間の大規模停電が発生すると、命にかかわる市民もいることから、対策が求められていました。2点目として「魅力と活力あふれる成熟した街」としてスポーツの力を生かしたまちづくり、生活拠点の整備などに約2.4億円の予算を計上しました。冬季オリンピック・パラリンピック招致に向けた市民との対話なども盛り込まれたことは評価しています。また、観光客受入数増加を目指す、都心部の魅力づくりと併せて、郊外の生活拠点整備にも補正予算を計上しています。北区北東部の市民生活向上を目指す、篠路出張所機能強化もスタートしました。これからも市民の皆さまのご意見を聞き、具体的施策へ反映できるよう努力していきます。

札幌市議会議員 林 せいじ

補正予算のポイント

「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」と
「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」の実現を目指して

予算編成の考え方

○「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」と「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」さっぽろを実現するため、「6つのまちづくり」を重点政策として設定

○重点政策の実現と「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の推進に資する取組で、早期に着手、または事業化の目途を付ける必要のあるものを中心に編成

○特に喫緊の課題である災害対策や、子ども・子育て支援、まちの魅力と活力の向上に資する取組について、スピード感をもって計上

補正予算のポイント

○非常用電源設備設置への支援など、震災を踏まえた都市の強靭化に力点

○保育士への就労継続支援や子ども医療費助成の拡大に向けた準備など、子育て支援策を積極的に盛り込む

○都心・拠点のリニューアルや外国人観光客の受入環境の整備など、地域経済の活性化を推進

○冬季オリンピック・パラリンピック招致に向け、競技環境の整備や市民との対話を踏まえた開催概要計画づくりなど、スポーツの力を活かしたまちづくりを推進

災害対応力の強化や健康寿命延伸に取り組み、暮らしの安心を実現！

関連予算額 13.8億円

避難所・社会福祉施設・病院等の災害対応力強化

関連予算額 10.3億円

◆避難場所環境整備（139百万円）
寒さ及び停電対策の充実に向けた応急救援備蓄物資の増強

◆社会福祉施設等における非常用電源確保対策（82百万円）
社会福祉施設等の非常用電源確保等の支援

◆在宅の障がい者（児）等に対する助成（146百万円）
人工呼吸器等を使用している在宅の障がい者（児）に対する、災害時に必要な非常用電源装置等購入費助成

◆災害医療用資材等整備（238百万円）
医療機関の非常用自家発電設備の整備に対する補助等

◆宿泊施設非常用自家発電設備整備補助（425百万円）
災害時に民間一時滞在施設となる宿泊施設の非常用自家発電設備の整備に対する補助

オリパラなどスポーツの力を生かしたまちづくり、拠点の整備を推進し、魅力と活力にあふれる街へ

関連予算額 2.4億円

さっぽろならではのスポーツ・文化を活用したまちづくり

関連予算額 1.7億円

◆市民とつくる冬季オリンピック・パラリンピック開催概要計画策定（10百万円）

市民意見を踏まえた開催概要計画を策定するため、市民と直接対話するワークショップ等を実施

◆都心部クロスカントリースキー大会実証実験

都心部におけるクロスカントリースキー競技の国際大会開催を目指し、アスリートを対象とした競技会を実証実験として実施

◆スペシャルオリンピックス

日本冬季ナショナルゲーム開催支援（35百万円)2020年2月に開催される大会への支援のため、運営費の補助等を実施

拠点のまちづくり

関連予算額 0.5億円

◆厚別中央市民交流広場再整備（48百万円）

新さっぽろ駅周辺のまちづくりにあわせた、利用促進・にぎわい創出のためのステージ・常設屋根等の再整備

◆篠路出張所機能強化（6百万円）

篠路出張所の機能強化に伴う庁舎整備のための地質調査等

林せいじ活動報告

2歳女児衰弱死事案について

札幌市中央区で発生した、虐待が疑われる事案による、2歳女児の衰弱死について、発生直後から市議会へも事案についての情報提供を受け、所管の子ども未来局および児童相談所と経過や再発防止について意見交換を行ってきました。6月26日には市議会文教委員会が開催され、経過報告ならびに再発防止に向けた取り組みなどが報告され、質疑が行われました。我が会派議員からは、関係部署での情報の共有化ができていない、認識やリスク管理の甘さが最悪の結果を招いたとの指摘を行い、今後の対策を問いました。

その後の新聞報道等でも札幌市の対応や関係部署との連携不足などが報道されています。児童相談所の業務の中で不審に感じたことなど、虐待が疑われる事案かどうかの判断を含めて所内での情報共有、事案の対応方法など全職員が一体となり対応することが必要であると考えております。

近年、虐待が疑われる事案などの増加が問題とされており、我が会派からも児童福祉士の増員、第2児童相談所の設置など求めていたところでした。札幌市は今後早急に「即応的な職員対応の体制作り、児童家庭支援センターなどとの連携を含め、取り組んでいく」としています。会派としても今後さらに札幌市の体制や対応策などを検証し、二度とこのような不幸な事案を発生させないように注視し意見提言していきます。

児童虐待は、人権侵害であるとともに、子どもの心身の発達及び人格の形成に重大な影響を与えます。虐待を疑うような場面に遭遇したときは、迷わずに連絡してください。

児童相談所全国共通ダイヤル 189（いちはやく）番

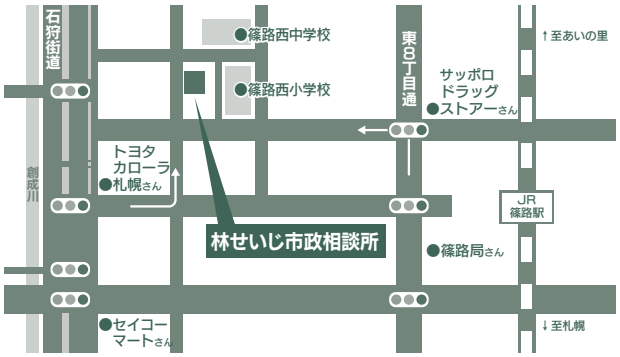
お近くの児童相談所につながります。
※一部のIP電話からはつながりません。　※通話料がかかります。

もしくは

子ども安心ホットライン（子ども虐待相談）
011-622-0010（24時間365日受付）
※通話料がかかります。

札幌市子ども未来局児童相談所
〒060-0007
札幌市中央区北7条西26丁目1-1
TEL：011-622-8620
FAX：011-622-8701

お知らせ

市政相談の際は、
お気軽にお立ち寄りください。

〒002-8025 札幌市北区篠路５条２丁目3-14
TEL 011-775-6321　FAX 011-775-6322